



2019年2月6日

各位

会社名 AGC 株式会社
 代表者名 代表取締役社長執行役員 島村琢哉
 (コード番号 5201 東証第1部)
 問合せ先 広報・IR部長 玉城和美
 (TEL. 03-3218-5603)

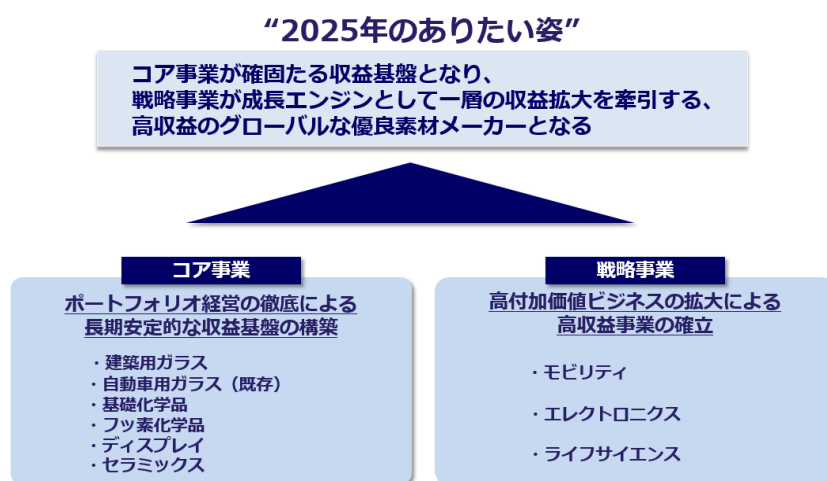
中期経営計画の進捗状況と更なる成長に向けた取り組みについて

AGC株式会社（本社：東京、社長：島村琢哉）は、昨年2月に策定した中期経営計画 **AGC plus-2020** の進捗状況及び更なる成長に向けた取り組みについて、以下の通りお知らせいたします。

1. 中期経営計画 **AGC plus-2020** の進捗状況

当社は「2025年のありたい姿」とその実現のための長期経営戦略を以下の通り定めています。

AGCグループの長期戦略（2016年2月策定）



2018年～2020年までの3か年を「2025年のありたい姿 実現のための礎を築く期間」と位置付け、昨年2月に **AGC plus-2020** を策定し、経営財務目標と主要課題を以下の通り定めました。

経営財務目標

	2020年度目標	2025年度目標
営業利益	1,600億円以上	2,292億円以上 (過去最高益更新)
ROE	8%以上	10%以上
戦略事業 利益貢献比率	25%以上	40%以上
D/E	0.5以下	0.5以下

AGCグループの主要課題

- 市況変動に強い高付加価値事業を伸ばす
- 戦略事業の成長戦略を推進する
- 成長地域・勝てる地域へ経営資源を集中する
- 戦略的なM&Aにより持続的成長を図る

中期経営計画 **AGC plus-2020** の初年度にあたる2018年度は、各部門で主要課題に則した事業運営を行った結果、売上高は1兆5,229億円となり、前年度1兆4,635億円に対して増収となりました。営業利益は1,206億円と前年度1,196億円に対して増益となり、営業利益における戦略事業の貢献比率も前年度10%から17%に伸長しました。営業利益の増加に加えその他収支が改善したことなどにより、親会社の所有者に帰属する当期純利益は896億円と前年度692億円に対して増益となり、ROEは7.7%と前年度6.1%から改善しました。

また将来の成長に向け、EUV露光用フォトマスクブランクス供給体制の大幅増強（日本）や、塩化ビニル樹脂の生産能力増強（インドネシア）、バイオ医薬品生産能力の増強（米国、日本）等の投資及び、パーク・エレクトロケミカル社（米国）のエレクトロニクス事業やマルグラット・ファーマ・ケミカルズ社（スペイン）の買収を決定しました。

中期経営計画 **AGC plus-2020** の2年目となる2019年度も、将来の成長実現のための投資を積極的に行います。

これら投資の減価償却負担が増加することなどにより、2019年度の増益幅は昨年に引き続き緩やかなものに留まりますが、これまでに決定した投資が2020年度から本格的に利益に貢献することから、中期経営計画 **AGC plus-2020** に掲げた営業利益及びROEなどの経営財務目標を達成できるものと考えています。

事業セグメント	主な投資と効果発現時期
ガラス	<p>安定した市場を背景に、勝てる地域で「稼ぐ力」を伸ばす</p> <p>【建築用ガラス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧州の設備改修による生産性、燃費向上（2020年） ・ブラジル新窯稼働開始（2019年） <p>【自動車用ガラス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モロッコ新工場稼働開始（2019年）
電子	<p>電子部材事業が大きく成長</p> <p>【ディスプレイ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国G11サイズ新設備稼働開始（2019年） <p>【電子部材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本EUV露光用フォトマスクブランクス能力増強（2019年以降順次増強）
化学品	<p>ライフサイエンス事業が大きく成長</p> <p>【クロールアルカリ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インドネシア塩化ビニル樹脂能力増強（2021年） <p>【フッ素】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本フッ素製品能力増強（2021年） <p>【ライフサイエンス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本GMP対応合成医薬品能力増強（2020年） ・米国バイオ医薬品能力増強（2020年）

2. 更なる成長に向けた戦略事業の取り組み

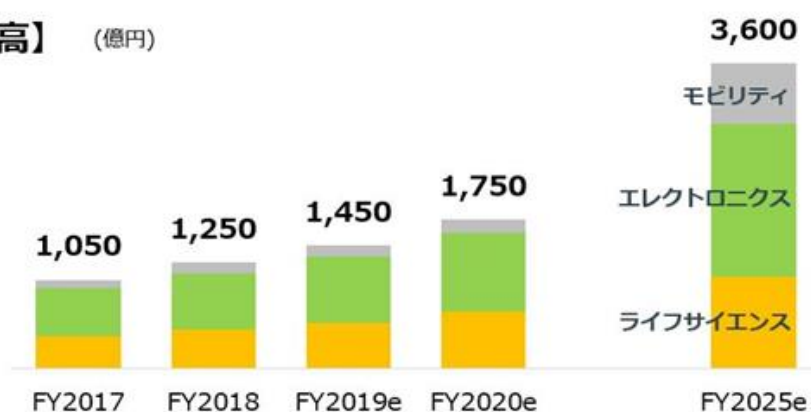
中期経営計画 **AGC plus-2020** の主要課題の1つに「戦略事業（モビリティ・エレクトロニクス・ライフサイエンス）の成長戦略推進」を掲げています。

今後の各事業における主な取り組みは以下の通りです。

モビリティ	各種交通システムを取り巻く環境・インフラの変化を機会と捉え、 ・既存の車載ディスプレイ用カバーガラス事業を更に拡大する ・情報表示やセンサーなど様々な機能を持つガラスや、電子・化学品の技術を活用した新製品の開発に取り組み、事業を拡大する
エレクトロニクス	・引き続きオプトエレクトロニクス製品の売上を拡大する ・市場拡大が見込まれる半導体関連部材において、EUV露光用フォトマスクブランクスやCMPスラリーなど、ハイエンド消耗材の売上を拡大する ・5G等、通信技術の進化が加速する中、次世代高速通信用部材において、プリント基板材料であるCCL（銅張積層板）の素材・製品等を販売し、事業を拡大する。 また、当社のアンテナ技術と顧客基盤を活用し、5G通信用基地局用ガラスアンテナ事業、5G通信用車載アンテナ事業を拡大する。
ライフサイエンス	医農薬市場の高い成長が見込まれる中、 ・合成医農薬、バイオ医薬品それぞれの分野において、M&A等により構築したグローバル運営体制を活用、強化する ・細胞医薬品、再生医療等の分野においても新たな事業機会を探索する

以上により、中期経営計画 **AGC plus-2020** の目標に掲げた、営業利益における戦略事業の貢献比率（2020年度：25%、2025年度：40%）の達成を目指します。

【戦略事業 売上高】 (億円)



戦略事業 営業利益	120	210	280	400	900	(億円)
営業利益貢献比率	10%	17%	22%	25%	40%	

AGCグループは、中期経営計画 **AGC plus-2020** で掲げた戦略の実行と経営財務目標の達成を通じて、持続的成長を実現し、全てのステークホルダーに価値をプラスします。

以上